

# 秋田の土地改良



CONTENT 1

2013

語り部交流会

inあきた

CONTENT 2

第36回

全国土地改良大会

北海道で開催

2013.10

VOL.478

第478号平成25年10月25日



# 語り部交流会in あきた開催

10月10日、県主催、地球人会議共催の「2013語り部交流会inあきた」が男鹿市で開催された。県や市町村、農地・水協議会や土地改良区などの関係者、及び一般の方が一堂に会し、約500名の参加となった。



基調講演を行った菅原徳蔵氏は「菅江真澄の愛した『男鹿』の農業・農村」と題し、江戸時代の紀行家・菅江真澄が今から約200年前に見た男鹿の水田や滝の頭、一ノ目瀉といった水源をなぞりながら、柳田国男や渡部斧松の人生と男鹿との関わり、また男鹿を代表する伝統文化「なまはげ」について講話を行った。

かたりすとの平野啓子氏は「『語り』を通して知る農村風景の『継承』」と題し、万葉集や菅江真澄の紀行文・和歌に見る日本の「農村風景」を、男鹿の風景とともに紹介。また、学習の一環として参加してくれた船川第一小学校の児童たちに、学校の教科書にも取り上げられている「稲むらの火」の語りを行った。

語りフォーラムでは、副題となっている「水と土、そのすばらしい農村風景を『継承』する精神(こころ)」をテーマとし、地元を代表して渡部男鹿市長、秋田魁新報社の安藤男鹿支局長、基調講演を行った菅原氏、前農林水産省農村振興局次長の林田氏がパネラーとなり、様々な立場や観点からの意見を交わした。最後にコーディネーターの平野氏が「いつも当たり前のようにしている農村風景の継承、このためにはいかに多くの方々がそのおおもとになっている農地や水路などに関心を持って、そしてその保全に何らかの関わりを持っていけるかということが大事になってくる」とまとめた。

この交流会で、多くの方が農業・農村のこを見つめ直す機会となり、地域の取り組みへの理解と協力が得られる共通のきっかけになればと思った。



感想：船川第一小学校五年 船木君  
「今日僕は初めて『語り』を聞いて男鹿にこんな大自然が残っているのは分かりませんでした。菅江真澄がみた風景を僕も見たいです」



パネラーの皆さん

## 目次

## CONTENTS

- |   |   |    |                               |
|---|---|----|-------------------------------|
| 2 | 2013語り部交流会inあきた開催   | 10 | 金足農業高校の就業体験                   |
| 4 | 第36回全国土地改良大会(北海道大会)   | 11 | 「あきた体験農園」～平成25年度活動報告③～        |
| 5 | 農業・農村の未来のために<br>・「農地中間管理機構」で地図情報を整備<br>・本会山本支部が県選出国會議員と農林水産省に要請 | 11 | 農業水利施設内の「ゴミ」問題(シリーズ⑩)         |
| 6 | TPPに反対し食料・農業・環境を守る<br>秋田県民集会                                    | 12 | 平成25年度土地改良関係団体役員職員講習会の開催日程    |
| 7 | 災害復旧活動  | 12 | 連合会日誌、会員だより                   |
| 8 | 21創造運動 一ノ目瀉クリーン・アップ   | 13 | 特集：地域からの情報発信<br>水土里レポーター・渡辺政彦 |
| 9 | JICAカンボジア国別研修<br>～土地改良区の用水管理システムを学ぶ～                            | 14 | 特集：我が水土里ネット<br>水土里ネット大曲・進藤峰晴  |
|   |   | 15 | 特集：随想 水土里ネット能代市榊・茂木順子         |
|   |   | 16 | インフォメーション                     |



## 菅原 徳蔵氏

あきた森づくり活動サポートセンター 所長

男鹿の農村のように手入れの行き届いた田園風景を見ていると心が温かくなり、なまはげなどの行事を重ね合わせると田んぼが神聖な風景に見えてくる。このような地が耕作放棄地にならずに手入れされている裏には、なまはげものを戒めるなまはげのパワーがいきているのではないかと。農地・水保全など相互扶助の精神が生きていて、自然と人間と文化が共存しているこの地域をずっと大切にしていきたい。

今年は大型観光キャンペーンである秋田ディスティネーションキャンペーン、来年には国民文化祭が控えており、2020年には東京でオリンピックが開かれる。外国の方々も沢山訪れるこの機会にこそ、男鹿の農村風景のような文化的風景を観光文化振興の新しい柱に据えて、色々な方々にPRしてほしい。そうすることによって後継者育成にも繋がる。

## 平野 啓子氏

語り部・かたりすと(元NHKキャスター)

真澄の紀行文の冒頭に出てくる「ほに(はさ掛け)」。昭和30～40年頃は稲刈り後の田んぼにごく当たり前に見られていた。そういった風景を作り出しているのは、農の営みが継続されてきた証であり、また、農地や水路を保全し続けてきた証でもある。私たちの身近には、普段当たり前のように田んぼや畑・水路やため池などがあるけれども、その誕生の背景がそれに関わった先人の苦勞の歴史を学んで語り伝え、そしてそれらを保全する活動に取り組むことが、大きな心の支えとなり、地域の絆や、今後の活動の継続に向けた結束を強める原動力になると確信している。そして、実はほになどの風景が残っていることにより、「こういう風景があるから『稲むらの火』っていう物語が生まれたんだ」と今、日本の中で文化と呼ばれている色々なものを説得するためのすばらしい材料、本物の資料になる。

これから未来を担う子供たち、外国から来る人たちに、日本の文化というものを伝えるときに「この風景があるからこの文化が生まれたんだ」と分かる元々の風景を残しておくということが日本の文化の支えになる。そのためには美しくすばらしい農村風景を農家の方々も農家以外の方も大人も子供もみんな、一人一人が心から大切に思うようになることが、なによりも大事ではないかと思う。



農の生け花展



農地・水パネル展



### 「なまはげ太鼓」

なまはげトラディション of Oga spa 恩荷





# 第36回 全国土地改良大会(北海道大会)

## 土地改良の推進で「攻めの農業」実現へ

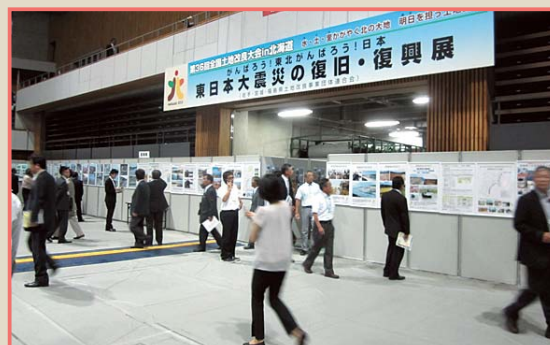


9月11日、北海道札幌市(道立総合体育館北海きたえーる)において、「第36回全国土地改良大会(北海道大会)」が開催され、「水・土・里かがやく北の大地、明日を担う土地改良、～食と農業・農村の未来を確かなものに～」をテーマに、全国から約3,000名の土地改良関係者が参集し、食料・農業・農村を巡る内外の諸情勢が厳しさを増す中であって、土地改良の推進で生産基盤を確保する重要性を確認した。



主催者挨拶で全土連の野中会長は、政府が目指す「攻めの農業」の実現に向け、「大区画化など、土地改良事業の実施を通じて積極的に貢献していく覚悟だ」と述べ、政府に対して、概算要求された農業農村整備関係予算の満額確保を求めた。

また、来賓の江藤農林水産副大臣は、概算要求で前年度比21%増の4,062億円を盛り込み、5年振りに4,000億円台にしたとアピール。「足腰の強い成長産業としての農業を皆様と実現したい」と述べた。



大会では、東日本大震災で被災した岩手、宮城、福島県の復旧・復興状況が基調報告され、さらに、「我が国の農業・農村の礎である『水・土・里』を守り、さらに発展させ、次世代に引き継いでいく」などとする大会宣言が満場一致で採択された。



なお、「土地改良事業功績者表彰」では、本会理事でもある、かつの土地改良区の田口信一理事長が、全土連会長表彰を受賞した。



### 「農地中間管理機構」で地図情報を整備

—「水土里情報システム」の活用を東北農政局長へ要請—

東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会(会長：及川正和岩手県土連会長)では10月7日に、佐々木康雄東北農政局長へ、「水土里情報システムの活用にかかる要請」を行った。

平成26年度概算要求の「農地中間管理機構(仮称)」の関連予算である「機構集積支援事業」において、農地基本台帳の電算化・地図化が予算化されたが、この地図化は、各県土連が補助事業で構築している「水土里情報システム」の整備目的そのものであると考えられることから、本システムを積極的に活用して頂くよう要請した。

要請は、佐々木局長をはじめ、関係部課長が一堂に会して行われ、冒頭、岩手県土連の田山専務が要請書を読み上げた後、各県の専務からそれぞれの県の状況や活用事例などについて説明を行った。佐々木局長からは、「農地基本台帳の電算化については、農業委員会それぞれの対応がバラバラである。農地中間管理機構への活用については、水土里情報システムが既に開発・運用済であることを前提として、本省の農村振興局と経営局へ伝えることとしたい」とのコメントを頂いた。

今後、農地中間管理機構の制度が明らかになるのに合わせ、本システムの活用について国へ引き続き要請していくとともに、各県毎に農業委員会等に対しPRすることとしている。



左から、伊藤(山形県土地連専務)、高橋(宮城) 佐々木農政局長、田山(岩手)、福澤(青森) 清野(秋田)、櫻田(福島)



意見交換の様子

### 本会山本支部が県選出国會議員と農林水産省に要請

9月6日、本会山本支部(田中長支部長)の会員13名が、本県選出国會議員と農林水産省へ“能代市・山本郡における農業農村整備事業の推進について”要請活動を行った。



實重農村振興局長(農林水産省)



財務金融委員長 金田衆議院議員



石井参議院議員



中泉参議院議員



# TPPに反対し食料・農業・環境を守る 秋田県民集会



写真1



写真2



写真3



写真4

7月31日、秋田市文化会館において「TPPに反対し食料・農業・環境を守る秋田県民集会」が開催された。県内の農業系組織など22団体などが会場を埋め、1,200名もの参加者が集結(写真1)。元外交官の孫崎亨さんによる基調講演と要請集会が行われ、来賓には橋口副知事や本県選出の国会議員、県議会議員など。本会の高貝会長も、「TPP反対を目指し粘り強く運動を展開していく」と決意表明を行った(写真2)。その後、山王大通りにてデモ行進。参加者は、はちまき姿でプラカード・横断幕等を掲げ「TPP断固反対」を訴えた(写真3)。本会の役員たちも行進に参加し、決意を改たにしていた(写真4)。この活動が身を結び、秋田の農業が更なる飛躍を遂げることを期待したい。





大館市（被害箇所①）



大館市（被害箇所②）

## 平成25年度豪雨災害の復旧に向け 鹿角市・大館市の災害支援業務

### 12月まで災害査定用設計書を担当

平成25年8月9日に秋田県内において発生した大雨により各地に大きな被害が発生し、大館市、鹿角市、仙北市において災害救助法が適用されました。本会では、大館市及び鹿角市の要請を受け9月から関係職員の派遣を始めた。今後12月まで関係職員が現地入りし、災害復旧に向けた測量調査、設計などの支援業務を行う。

現在は、本会職員並びに本会OB、県内コンサルタントなどの協力を得て、8班体制で測量調査が進められ、農地を中心に、ため池、頭首工、揚水機場など農業用水利施設の被害状況を把握のうえ、今後順次行われる災害査定に向けて設計書の作成などを担当する。

9月末時点の被害状況は、大館市358箇所、鹿角市177地区となっているが、9月の台風被害による災害地区約100箇所程度が追加される見込みである。

被災箇所は、入り組んだ沢地の所も多数あるため、予想以上に現場状況の把握に時間を要しているが、今後は調査・設計・積算を進め、随時災害査定を受けることになっている。



鹿角市（被害箇所①）



鹿角市（被害箇所②）





写真1



写真2

## 21 創造運動 一ノ目瀉クリーン・アップ



写真3

9月4日、男鹿市北浦一ノ目瀉土地改良区が主催するクリーン・アップ活動が開催された。21創造運動の一環として平成14年度から取り組んでいる活動は、今年で10回目。一ノ目瀉周辺にはほとんどゴミがなく、改良区や地域の人々によって普段から丁寧に管理されていることがわかった(写真1)。その後、同改良区が管理している隧道(水路トンネル)の改修工事の報告と、秋田地域振興局の舩谷農村整備課長から「年縞」の講話を受けた(写真2)。随道見学では、先人たちの足跡と現代の技術力の高さを感じることができた(写真3)。上流の1号トンネル・下流の2号トンネルとも掘削作業が終了し、完成は26年度になる。



### 豆知識 一ノ目瀉

6～8万年前の火山活動に伴いできた湖。近くの二ノ目瀉、三ノ目瀉とともに「目瀉火山群」を構成している。いずれの目瀉もマグマの水蒸気爆発によって造られたマール湖で、東北地方でほかに例がない。2006年の調査で「年縞」の存在が確認され、翌年には国の天然記念物に指定された。「年縞」とは、湖底の堆積物が1年ごとに積み重なり縞模様を築くことで、今年の調査で一ノ目瀉は国内最大の約60mに達していることが分かった。これは、過去5～6万年間に相当する堆積と考えられ、地震や噴火、気候変動に伴う植生変化などを正確に把握する手がかりとなることが期待される。





# JICAカンボジア国別研修 ～土地改良区の用水管理システムを学ぶ～

写真2



写真1



写真3

7月25日から2日間、JICAカンボジア国別研修の受け入れを行った。初日は仁井田堰土地改良区(秋田市)の伊藤事務局長の案内で「仁井田頭首工」(写真1)と「末戸松本分水工」(写真2)を視察。2日目は水土里ネット秋田にて、映像等を交えながら「秋田の農業と土地改良区組織」についての説明を受けていた(写真3)。今年度はJICA研修の受け入れが2回目となり、東南アジアの各国との交流の輪も小さいながらも広がってきているように感じる。縁あって、水土里ネット秋田に研修に来た皆さん。農業県秋田で学んだ維持管理システムについて、自国で活かしてもらえたらと思う。





# 金足農業高校の 就業体験

7月29日から3日間に渡り、金足農業高校の2年生がインターンシップ(就業体験)に訪れた。

平城揚水機場(湯沢市)で機械を聴診

## 1日目 仁井田頭首工・本町揚水機場(秋田市)、ほ場整備の現場(豊川地区)を視察

実習生から「自分の家の近くにあるのは知っていたけど近くまで来たことはなかった」との声があがった。

## 2日目 湯沢南部地区第1揚水機場や湯沢統合堰取水樋門にて定期診断

本会藤田専門員の指導のもと、真剣な眼差しでチェックシートと睨めっこしていた。

## 3日目 秋田市上北手小山田土地改良区で農業用のため池の現況調査

後日、研修生から暑中お見舞いが届き、文面には「農家と土地改良区の関係を知り、人と人との大切さを知った」「ポンプやその周りの機械などの細かい点検作業が印象的だった。このような作業をいつもしていると思うと、職員の方々を尊敬する」といった内容が綴られていた。このインターンシップから、水土里ネット秋田の仕事がより身近に感じられるものとなり、また職業選択に役立つ機会になればと感じた。





# 「あきた体験農園」～平成25年度活動報告③～



## － 園児によるさつまいも掘りの収穫体験を実施 －

先日は、今期活動の中最大のイベントである『芋掘り体験』が行われました。あおぞら保育園(秋田市仁井田)の園児22名は、元気な歓声を上げながら、楽しそうに収穫を体験していました。「あきた農業体験施設」の今年度の会員は36名。都市近郊の耕作放棄地を再生し、農地環境の改善と都市住民の農業に対する理解を得ることを目的として、秋田市仁井田地区に地域住民参加型の体験農園を開設し、4年前から活動に取り組んでいます。

- ① 8月9日 第1回目の枝豆の収穫作業
- ② 8月19日 第2回目の枝豆の収穫作業
- ③ 9月2日 白菜の植えつけと大根・カブの植え付け
- ④ 9月15日 菜の花畑の肥料散布とトラクターによる耕起作業
- ⑤ 10月4日 サツマイモの蔓刈り作業
- ⑥ 10月7日 サツマイモの収穫

担当・問い合わせ先

あきた農業体験施設(市民農園・教育ファーム)事務局  
水土里ネット秋田 総務企画部内 鈴木一秋・高橋康信、

TEL.018-888-2712  
FAX.018-888-2834

特集

## 農業水利施設内の「ゴミ」問題

シリーズ⑮



### 現地踏査「真菰が排水に影響し除去に苦慮」

井川町土地改良区(秋田管内)

平成25年8月22日、井川町土地改良区受益地において、本会役職員が土地改良区が抱える農業水利施設内のゴミの問題について意見交換を行うとともに、ゴミの実態を踏査した。土地改良区事務所で工藤理事長が「排水機場は一年中稼働しているため、一般ゴミや農家の刈草等の流入があり、大雨の時は真菰が排水機場のスクリーンを塞ぎ、排水に苦慮している」と話された。

**対策** 看板設置、クリーンアップ、広報で注意を促す。

**要望** 既存補助事業(国営造成施設管理体制事業)の継続。

#### 水土里ネット秋田からの提案

各水土里ネットで「水(み)土(ど)里(り)の日」を決めて、役職員自ら「ゴミ」処理を行ってみませんか。





# 平成25年度 土地改良関係団体役員講習会

平成25年9月25日、本講習会に関わる事前打合会を開催した。打合会には、県及び各支部の職員24名の出席を得て、今年度のテーマ等について協議した。開催日・開催地は以下のとおり。



管内	開催日	開催地
平 鹿	11月7日(木) -	「松與会館」 〒013-0035 横手市平和町4-2 TEL. 0182-32-2101
仙北(役員)	11月13日(水) 11月14日(木)	田沢湖高原温泉「プラザホテル山麓荘」 〒014-1201 仙北市田沢湖生保内字駒ヶ岳2-32 TEL. 0187-46-2131
由 利	11月15日(金) -	旅館「安楽温泉」 〒015-0868 由利本荘市大堤下4 TEL. 0184-22-0637
秋 田(役員)	11月19日(火) -	「イヤタカ」 〒010-0001 秋田市中通6丁目1-13 TEL. 018-835-1188
鹿角大館・北秋田	11月21日(木) 11月22日(金)	「ホテル鹿角」 〒018-5421 鹿角市十和田大湯字中谷地5-1 TEL. 0186-37-4111
山 本	11月22日(金) -	「キャッスルホテル能代」 〒016-0831 能代市元町16-6 TEL. 0185-55-1111
雄 勝	11月28日(木) -	「湯沢グランドホテル」 〒012-0845 湯沢市材木町1-1-1 TEL. 0183-72-3030
仙北(職員)	11月29日(金) -	「グランドパレス川端」 〒014-0051 大仙市大曲浜町7-39 TEL. 0187-62-0354
秋 田(職員)	12月5日(木) 12月6日(金)	秋田温泉「秋田温泉プラザ」 〒010-0822 秋田市添川字境内川原142-3 TEL. 018-833-1919

## 連 合 会 日 誌

8月6日	土地改良区統合整備事例研修会	秋田市「秋田市文化会館」
8月26日	平成25年度第2回理事会並びに第1回役員会	本会「第1会議室」
8月30日	秋田県土地改良事業団体職員会研修会	平鹿、雄勝管内
9月4日	全国ため池整備事業	東京都
9月4日	都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者研修会	東京都
9月26日	平成25年度全国土地改良施設管理事業推進協議会研究会(～27日)	群馬県
10月1日	平成25年度農地・水保全管理支払交付金担当者会議(第2回)	秋田市
10月16日	とやま水土里フォーラム・農業用小水力発電推進全国大会	富山市
10月17日	第5回東北管内耕作放棄地解消事例発表会(～18日)	青森県
10月23日	新エネルギーセミナーinあきた2013	仙北市
..... 今後の行事予定 .....		
10月31日	平成25年度疏水ネットワーク通常総会及び疏水フォーラムin明治用水2013	愛知県安城市
11月5日	第57回秋田県農業委員大会	仙北市「仙北市民会館」
11月8日	平成25年度第4回監事会	本会「第1会議室」
11月20日	東北・北海道土地連絡協議会管理主任者会議・専門指導員会議(～22日)	福島県
11月26日	農業農村整備の集い	東京都

## 会 員 だ よ り

### 新市長就任のお知らせ

○横手市 (H25.10.23から)  
市長 高橋 大

### 新理事長就任のお知らせ

次の方々新たに理事長に就任されました。  
○大仙市清水北部土地改良区 (H25.9.9)  
理事長 明平 吉芳  
○北秋田市綴子土地改良区 (H25.9.20)  
理事長 米澤 一

### 会長職務代理者のお知らせ

○北海道土地改良事業団体連合会(水土里ネット北海道)会長職務代理者 (H25.9.19から)  
副会長理事 宮谷打留雄

### 事務所移転のお知らせ

○公益社団法人 秋田県農業公社  
移転先(H25.10.4から)  
〒010-0951  
秋田市山王4-1-2(秋田地方総合庁舎 5階)  
TEL.018-893-6211  
FAX.018-895-7210

### 事務所の業務時間変更のお知らせ

○秋田市上北手小山田土地改良区事務所  
(H25.10.1から)  
午前10時～午後4時



地域からの  
情報発信

## 美しい自然 風景に感謝！

水土里レポーター 渡辺 政彦  
(由利本荘市滝沢堰土地改良区事務局長)



### 由利の大地の真ん中を今日も『おばこ』が行く！

今、何気なく窓から外を見渡すと、黄金色に染まった田園が秋の青空に覆われ、その真ん中をいつもの『おばこ号』がディーゼル音を響かせて『ガタンゴトン』と疾走しております。

そんな、ここ秋田県沿岸南部『由利本荘市』、そのやや中央付近の由利地域(旧由利町)を走る『由利高原鉄道』を紹介いたします。

由利高原鉄道(鳥海山麓線)は、昭和60年国鉄矢島線を引き継ぎ第3セクターとして誕生しました。日本海に面する羽後本荘駅から鳥海山の麓である矢鳥駅までの全長23kmの単線でこの地域の大切な足となっております。

ディーゼルカーの車両は『おばこ号』の愛称で親しまれ、勇壮な鳥海山を仰ぎながら、美しい田園地帯を清らかな子吉川に沿って走る素朴で懐かしい車窓と、『秋田おばこ姿』の列車アテンダントが人気です。中間地点の前郷駅では旅客鉄道としては珍しい『タブレット交換』を見る事もでき、これが本州では残り2線区(全国では3線区)のみとなったため鉄道ファンの注目も集まっています。

毎日約1時間おきに14往復、朝と夕方のラッシュ時は2両編成、それ以外は1両単独で可愛らしく駆け抜けております。

年間を通じて季節に合わせて盛りだくさんのイベント列車を運行しており、例えば『こいのぼり列車』『七夕列車』『納涼ビール列車』『かかし列車』『ワンコイン(500円)ツアー企画』等々、年間20前後のイベントで盛り上げております。

こちらにお越しの際は、是非『おばこ号』に乗車して、この地域の心優しい人情に触れ大自然を満喫していただければ幸いに存じます。

(資料及び写真提供：由利高原鉄道)

#### お問い合わせ先

詳しい内容は、由利高原鉄道にお問い合わせ下さい。

TEL 0184-56-2736

ホームページ <http://www.obako5.com/>



秋田おばこ姿の美人アテンダント！



まばこが！  
ガタ〜ン！  
ゴト〜ン！



タブレット交換して発車オーライ！





## 大仙市大曲土地改良区

事務局長 進藤 峰晴

本土地改良区は、雄物川を挟む旧大曲市街地西部の左岸地区と南部の横手市、美郷町に境を接する右岸地区の比較的平坦な地域にあり、用水源は雄物川・大戸川及びため池となっています。

平成14年12月に、4土地改良区による新設合併として設立され、合併以前の状況は、圃場整備完了による大区画(1ha)地区や、30a圃場毎のパイプかんがい地区、更に、ため池又は地下水を利用した数十ヵ所の補助揚水機等、合併地域の実情に大きな違いがありました。頭首工・ため池等のかんがいと比較し、揚水機などの電力費用は、運営に大きな負担となっております。

当土地改良区の一部の地域においては、大正年代に揚水機運転に必要な電力を求め、遠く離れた奥羽山系に自家水力発電所2ヵ所(合計出力339キロワット)を設置し、非かんがい期は売電するという画期的な事業運営をしておりましたが、施設の老朽化等の事情により、あえなく断念せざるを得なかった歴史もあります。

合併後においては、前記のとおり地域事情による維持管理体制とそれに伴う地域別賦課形態の継続としながらも、経常賦課金については組合員の理解のもと、当初から均一化を図り以後は軽減してきているところです。

一方、当管内全般の施設は老朽化が著しく、現在、隣接土地改良区と併せ国営旭川地区かんがい排水事業により、頭首工の改修に向けた調査並びに実施設計等の段階に入ってきております。

また、揚水機やパイプラインの更新並びに改修の事業や一部未整理地域を含む300ha以上の圃場整備事業に向けた推進等、全体において抱える課題を克服すべく組合員の理解はもとより、先人に学び役職員一丸となって土地改良施設整備と組合員の負担軽減、将来営農への継承となる基盤整備に向けて努力していかなければと考えております。

大戸川頭首工





# 「随想」

シリーズ③

## 我が家の可愛い王子さま

能代市榊土地改良区 茂木 順子



私には十歳と五歳になる息子がおります。私にとっては可愛い王子達ですが、男兄弟ともなればパワフルで騒がしくて言う事を聞かないのが当たり前。「ママって男鹿のなまはげみたい」と言われながら毎日朝から晩まで王子達との戦いを繰り返しています。

しかし王子達もズルイというか賢いというか…「これはマズイ!!」と察知すると絶好のタイミングで甘えてきては私の雷を回避しています。甘えてくる姿がたまらなく可愛いので私もつい許してしまいます…親バカですね(笑)

そんな元気一杯に育つ中、今年の二月から上の王子がスポ小でバスケットを始めました。

スポーツをすることで技術面を磨く事は大事ですが、心身共に遅しくなること挨拶や礼儀を学ぶこと仲間の大切さを感じて欲しいなど私は思っているところです。

入団してもうじき半年を過ぎようとしています。まだまだ体力がなく練習に付いていくのに必死ですが、怖がっていたボールキャッチ

が出来るようになり、届かなかったシュートが決まるようになり、飛べなかつたりバンドに少し反応出来るようになりました。

少しずつではあるけれど確実に成長していること、本人が楽しいと言って練習に取り組んでいる姿がとても頼もしいです。

私と一緒に付いて歩く下の王子もいつの間にかドリブルが上手になり汗を流してボールと遊んでいます。数年後、兄弟で同じコートに立つてプレーする日が来るのでは!?!と夢みながら楽しみに待ちたいと思います。がんばれ!! 可愛い王子たちよ!!



右が長男の優斗くん 左が次男の駿斗くん



平成25年度

## 秋田県土地改良事業推進大会

- 平成25年11月1日(金) 午後1時00分
- 仙北市「仙北市民会館」 仙北市田沢湖生保内字武蔵野105-1

今年は  
仙北市で  
開催!!

## 第136回 秋田県種苗交換会

「農業農村整備フェア」を開催します!

農業の祭典『第136回秋田県種苗交換会』が、10月31日～11月6日まで仙北市を会場に開催されます。期間中、水土里ネット秋田では農業農村整備事業のPRのため県内国営事務所、秋田県、秋田花まるっG T協議会と共催で参考展示「農業農村整備フェア」を協賛第1会場で開催します。皆様の来場をお待ちしております。

**期間:** 平成25年10月31日(木)～11月6日(水)9:00～16:00

**場所:** 協賛第1会場(生保内武道館駐車場)

**内容:** 各種パネル・事業模型の展示、土地改良相談コーナー、カレンダー作成など



昨年の農業農村整備フェアの様子



野山の花

### ツククサ(露草)



ツククサ科ツククサ属の一年生植物。畑の隅や道端で見かけることの多い雑草である。茎は地面を這い、花弁は2枚しかないように見えますが、じつは小さくて目立たない白っぽい色の3枚目の花弁があります。

花の色素は、友禅染めなどの描染の下絵用の染料として用いられてきました。

開花時期は、6～10月末頃。

花言葉：豊潤 恋の心変わり 尊敬。

(2013.9.12 秋田市)

## 第14回 写真美 真村し コづく ンく豊 クりか ーな ル

**募集テーマ:** 秋田県内の農業生産、農村の生活・文化などを幅広くとらえた農村風景の作品。入賞者には、賞状と副賞を贈呈します。

1. 水土里ネット会長賞 1点(副賞30,000円相当)
2. 優秀賞 5点(副賞10,000円相当)
3. 入選 10点(副賞5,000円相当)

**応募締切:** 平成25年12月25日

一般(高校生以上)を対象に作品を大募集しています!!

応募先・問い合わせ先

〒010-0967 秋田市高陽幸町3-37  
水土里ネット秋田(秋田県土地改良事業団体連合会)  
総務企画部 広報・渉外班 あて  
TEL.018-888-2742 FAX.018-888-2834

作品  
募集集



## 編集 後記

秋と言えば《芸術の秋》、《スポーツの秋》、《食欲の秋》…あなたはどの《秋》ですか? 先日、「あきた体験農園」で保育園の皆さんを交えてお芋掘りをしました。「よっこらしよ、どっこいしょ」とまるで大きなカブのごとく芋のツルを引っ張る子供たち。そんな姿を見ているだけで、こちらもほっこりと温かい気持ちになれました。持ち帰ったお芋は、焼き芋にでもなるのかな?子供たちにとって、普段は経験することが出来ない貴重な体験になったと同時に、大人にとっても久々に頬が緩む、楽しい秋の1日でした。寒かったり、暑かったりと今年の秋は体調管理が難しいですね。これから冬が来ると思うと気分も滅入りますが、おいしいものでも食べて元気に冬を乗り越えましょう!(広報・渉外班◆寺山)

